

国際シンポジウム開催!

市と6月に地域連携協定を結んだ神戸大学大学院国際化学研究科の主催する「国際シンポジウム」が11月14日、三原公民館で開催されました。

淡路人形浄瑠璃に焦点を当て「南淡路における民俗芸能の展開」と題して、国内外の専門家による講演と全体討論が行われました。

コーネル大学(米国)や国立民族学博物館の研究者が招かれ、同研究科の講師陣と、海外の視点からや、芸能伝承の観点、また、人形の機能や意味など、様々な角度から学問的な考察を繰り広げました。

会場入口では、大学院生が、この夏、市内に数日滞在して、



▲淡路人形浄瑠璃に焦点を当てた全体討論



▲院生8人が各自の研究内容をパネル横で説明

「だんじり唄コンクール」「地域の国際化」「地場産業の酒造」「初盆行事」など、独自に実地調査した研究内容をパネルに展示。来場者に説明したり質問を受けたりしていました。今回の連携研究は、専門家も養成している大学にも、地域活性を図る市にとっても意義深いものとして、開催に際し、神戸大学の水田恭平研究科長は、「当地の蓄積された文化情報をいかに読み解くかトレーニングの場をもらっている」と話し、中田市長は、「淡路人形浄瑠璃が、地域の宝として誇りに思う気運がさらに高まり、地域の方向性への期待も膨らむ」と話しました。

福井自治会「コミュニティ広場」を整備



▲整備された「福井自治会コミュニティ広場」

福井自治会が、宝くじ収益を財源とした(財)自治総合センターの「コミュニティ助成事業」を活用して、コミュニティ広場を整備しました。10月27日には、同広場の完成を祝って地元老人クラブによるグラウンドゴルフ大会が和やかに行われました。

助成事業では、同広場の整地、照明器具や用具倉庫、ベンチの設置のほか、グラウンドゴルフ用具などの備品の購入などが整備されました。古池功自治会長は、「コミュニティ広場が整備され、広場を利用したスポーツ・レクリエーションなどで、さらに地域の活性化・住民交流を促したい。また、非常時の避難場所として利用することで、より一層のコミュニティの発展と地域住民の安全確保につなげたい」と話していました。

技能功労者表彰

永年優れた技能で、地域社会の発展に貢献した21人の方々に11月23日、「南あわじ市技能功労者表彰」が贈られました。(年齢順、敬称略)

- 出口 巖(八木、建具職)
- 野上 幸子(神代、美容師)
- 雨堤 章(津井、製瓦職)
- 黒田 幸彦(福良、自動車整備士)
- 山口あけみ(市、美容師)
- 土居 章(倭文、塗装業)
- 本田 英夫(広田、旋盤工)
- 木本 勝治(阿万、自動車整備工)

- 久米 理資(広田、理容師)
- 阿部 忠彦(阿万、左官)
- 中原 省治(神代、電気工事士)
- 榎賀 繁(福良、電気工事士)
- 道上 永久(津井、製瓦職)
- 進藤 利巳(湊、自動車整備士)
- 村上 博明(福良、製麺職)
- 丹羽 實(榎列、建具職)
- 平川 光(志知、理容師)
- 上田 雅博(市、大工)
- 戎本 剛(灘、大工)
- 宮下 孝司(市、大工)
- 西村 光司(榎列、建具職)

地産地消、ゆめるん子育て元気米支援事業!

「お米を食べよう市民運動」を展開している市では、「日本型食生活の大切さ」「地産地消と米の消費拡大」「子育て支



▲優秀標語表彰式で市長賞を受けた清藤綾城くん親子(11月3日)

援」を目的に11月、市内の小生がいる家庭(2127世帯)に南あわじ産こしひかり1袋10kgを無料配布しました。

この事業は、朝食を食べない子や偏食など、食の乱れが子どもや子どもの健康や発育、学業にも影響を及ぼすと言われるなか、家庭や子どもたちに、食に対する正しい理解や、地元農業とその食材のすばらしさを、食卓を囲んだ団らんのなかで話し合っ



▲学校を通じて「お米引き換え券」を各家庭に配布して農協各支所で米袋を手渡しました

市指定文化財に3件指定



(左)清浄寺阿弥陀石仏(中央)古森家石造五輪塔(右)神本寺石造五輪塔、いずれも9月15日に指定

市教委はこのほど、石仏1体と五輪塔2基を市指定有形文化財に新たに指定し、10月29日、市役所西淡庁舎で指定書の交付式を行いました。

指定を受けた「清浄寺阿弥陀石仏(倭文)」は、蓮花座の様式から鎌倉時代のもので、力強く写実感あふれる石造彫刻として、貴重とされています。また、「古森家石造五輪塔(賀集)」は、石造美術の全盛期である南北朝時代の建造物とされ、地元産の和泉砂岩で

作られた島内最古の石造品として、学術上の価値が評価されました。さらに、「神本寺石造五輪塔(榎列)」は、建立当時の鎌倉様式の姿を現在に残しており、他の石造五輪には見られない、火輪・地輪の2か所に彫られた奉籠孔や不整形な地輪の特異な様式から、高い評価を受けます。

▲塚本教育長から指定書を受け取る文化財の所有者

宝くじ収益を利用



▲コミュニティ広場内に設置された看板

消防団協力事業所に表示証



▲10月28日、淡路消防ビルで表示証の伝達式が行われました

地域の消防団員の大半が、被雇用者という状況の中、災害時の消防団活動では、勤め先の理解と協力が不可欠です。

そこで、島内3市消防団で構成する淡路地区消防協議会は、従業員が消防団活動に参加しやすいように配慮している事業所を「消防団協力事業所」として認定し、「表示証」を交付する制度を開始。市内では、次の3事業所に交付されました。

- ◆三洋エナジー南淡(株)
- ◆あわじ島農業協同組合
- ◆(株)森長組

なお、地域防災力向上に社会貢献するこの制度へ賛同される事業所等を随時募集しています。国防災課 ☎43・5006

ふるさと納税

ご寄附ありがとうございます。ご寄附状況の公表(11月16日現在)

区分	件数	金額
南あわじ市内	232件	32,195,219円
市外(島内)	30件	1,956,000円
市外(島外)	129件	11,854,940円
合計	391件	46,006,159円

詳細は市のホームページに掲載しています

下水道、早期接続をお願いします



▲共用開始事前説明会(10月27日、福良小学校)

市では、「下水道のしおり」などを作成して、下水道が使用可能となる地域の方々に随時、公会堂等での説明会を行っています。「排水設備指定工事店」や「早期接続者奨励金制度」「受益者負担金」「下水道料金」など、接続に関することはお気軽にお問い合わせください。なお、宅内排水から公共ますまでの「工事見積り・設計」は、排水設備指定工事店へのご相談となります。

☎ 下水道加入促進課 50・3041